



<本年度会長方針>

新たなる一歩を

WEEKLY REPORT No.1282

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 高木政義 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 大原敏正 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org



第1501回例会

ロータリー理解推進月間
平成27年1月15日(木)
年男年頭所見

於 名古屋東急ホテル
出席計算数 会員 58名

出席計算数 47名中40名出席
出席率 85・11%
前々回出席率 100%

例年プログラム

- ★米山記念奨学生挨拶
- ★受入青少年交換学生挨拶
- ★お誕生日お祝い
- ★照井30周年実行委員
- ★30周年記念誌について
- ★年男年頭所見

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮者 松本 哲朗
ピアノ伴奏 富根 玲子

ゲスト

米山記念奨学生
チフトウチ ウツムハン
受入青少年交換学生
タルトン・レーン・バイカー

ニコボックス

年男所見楽しみにしています！
高木 政義
年男の皆様、所見楽しみにしています。
林 富徳
30年間の記録誌できました。照井
さんご苦労様でした。堀江 英弥
娘が成人しました。また、ライラ
でスリランカにまいります。

渡辺 観永
チャーターメンバー最年少者も64才です。人生の半がロータリーやっています。
内藤 明
誕生月です。年男年頭所見をやり
ます。
横井 衛
誕生月です。
岡村 隆徳
家内の誕生月です。
大原 敏正
妻の誕生月です。
岡田 尚彦

会長挨拶

会長 高木 政義

先週の例会が1500回の記念例会でした。今日は1501回でいよいよ2000回例会へのスタートです。新しい年の始まりです。今年が出发点と考えられる法律の話をします。

法律名は「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」です。一般に「番号法」といわれています。この法律により今年10月から全国民に12桁の番号が通知されます。これが「個人番号」です。法人には13桁の番号「法人番号」が通知されます。国民への付番は行政の中にコンピュータが入ってきた頃から検討されてきました。以前「グリーンカード」制度が誕生しましたが、実施されずに終わりました。やはり付番について



ての拒否反応は相当根強いものがあつたようです。

その雰囲気が大きく変える問題が発生しました。それは「消えた年金問題」です。その後の民主党政権において番号制の検討が開始されました。その結果平成25年5月法律が可決成立しました。「個人番号」は生涯原則として一つです。この「個人番号」の利用は①社会保障②税③災害対策に限定されています。当然、公開されません。これに対して「法人番号」は公開されます。税に関しては「個人番号」を記載する新様式のものが増えてくるでしょう。

いよいよ国民総鑑査番号制が始まります。今年はこの新しい制度の始まりの年として記憶されることになるでしょう。

年男年頭所見

横井 衛さん

人間である以上、年を重ねて老化してゆくことは72才にもなるとひしひしと感じます。しかし年を重ねるたびに判ってくる事も結構あるんです。若かった頃を思い出すと、あのテニスボールのような弾力性、ゴルフクラブのシャフトのようなフレキシビリティ、あれはいったいどこへ行ってしまったのか!?...と思つてこの頃はよくあります。

ふと、老化は身体だけにおこるものなのだろうか?と考えると

にすばらしい発見をしてしまいました。私にとっては本当に大発見なのです。これが心の中でも起こりつつある事を発見したのです。それは、老化とは「フレキシビリティとバランス感覚」が失われてゆく事なのだとということが判つてしまつたんです。これがこの2、3年における私の大発見です。

人間は動物の一種なのでいつかは死にます。残存有効期間をいかにこのフレキシビリティとバランス感覚をより豊かにみがきかけ、社会のため、自分のまわりの人のため、お役に立つことが出来るだろうか、と考えながら毎日を過ごせたらとてもハッピーだと思つています。

年男年頭所見

佐々木 功さん

皆様明けましておめでとうございます。只今紹介を賜りました佐々木でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度は皆さんご承知のとおり未年でありまして、私の6回目の年男となります。昨年度は衆議院総選挙が行われ、自公で2/3過



半数の議席を確保し政権も安定し、本年も少しずつ景気回復の流れになっていく感があります。

さて、長らく人生を過ごしてまいりましたが、この正月に物心がついて今日まで如何に人生を歩んできたかを考えました。36歳のときに組織を飛び出し、何も無い状態で会社を設立し、試行錯誤しながら34年間企業経営を続けてきました。私を支えて下さいました。たくさんの人達によって今日を迎えることが出来た事に、心底感謝の気持ちで一杯であります。

自分自身を振り返る時間も持たず、がむしゃらに進んでまいりましたが、年男となり立ち止まって自分の人生を思うときに、あつという間の時間であったと感じています。今後、生かされている生命を大切に、健康に留意し、企業経営により一層の努力をし、この2年間でやり残した会社の改革に努め、次期社長後継者にバトンタッチしたいと思っています。今年一年、組織の全ての見直しと中国上海の農園運営に力を注ぎ、自分の思いを達成する覚悟です。時代の流れも猛スピードで変化していきますので、流れに遅れぬようなく勉強し、老体に鞭を打ち、全従業員の物心両面の幸福を追求し、地域社会に貢献する様に頑張っていく所存であります。

今後とも皆様の「指導」「鞭撻」をお願い申し上げます。ともにも本年が良い年になる様に祈念申し上げます。

げ、年男の年頭の所見とさせていただきます。

年男年頭所見 荻葉 賢三さん



明けましてお目出度う御座居ます。私は今年10月に満72才即ち年男となります。大学を卒業して社会人となり50年、名古屋大須RCCに入会して30年、早いもので右を向いて左を見たらもう72才の老人となりました。

或る人は「人生とは青春」24才まで、夏赤(48才まで、秋(白)72才まで、冬(黒)72才から」と言っておりますが、これからの私は元気で明るく楽しい冬を過ごしたいものです。

慶應義塾大学では卒業後25年目と50年目の2度卒業式に招待されます。25年前には塾長のスピーチにとても感激致しました。「これからの時代には、過去に無かったことが起こっている時代である。それには物を考える力を身につけること。健康を大切にすること。気力の充実をはかること。」そんな内容でした。

今年50年目にあたり、3月

には卒業式に招待される予定です。すばらしいスピーチで学生時代の多くの友人と会える事を今からとても楽しみにしております。

年男年頭所見 尾上 昇さん

回目の未年なのか興味が薄れました。生に対する未練や執着が無くなった証拠です。今年からはいよいよ黄泉への長い旅の支度を始めます。申す迄もない、終活です。先ず、全ての株券を処分します。生命保険も解約します。生活様式も一変させます。別荘に引き籠り、晴耕雨読の毎日です。余人との関わり合いも成るべく避け、俗界とは一線を画します。これ迄行き合っていました。ゴルフとか麻雀などという類の低俗な行為からは、当然足を洗います。大好きなフグナーやショパンなどのクラシック三昧です。ラフマニフやチャイコフスキーのコンチェルトは、何回聞いても飽きません。夫婦相和し一献の晩酌に幸せを感じながら、ひたすら平穏で安寧を求めて静かな日々を過ごしたいと思っております。永い間お世話になりました。

年男年頭所見 渡辺 観永さん

「今年もガンガン山に登って、去年散々痛めつけられた奴等にリベンジしてやるんだ。ざげんじゃねえよ。こつこつと、そこらの生ちよろい連中なんかとは、比べものにならない程の気力と体力を備えてんだ。ヤッターソー！」

本年もどうぞ宜しくお願い致します。相変わらずの交友の程をお願い申し上げます。

年男年頭所見 渡辺 観永さん

「次号以降に掲載致します。」

米山塾生挨拶

「次号以降に掲載致します。」



というのは、真っ赤な嘘。

「今年もガンガン山に登って、去年散々痛めつけられた奴等にリベンジしてやるんだ。ざげんじゃねえよ。こつこつと、そこらの生ちよろい連中なんかとは、比べものにならない程の気力と体力を備えてんだ。ヤッターソー！」

本年もどうぞ宜しくお願い致します。相変わらずの交友の程をお願い申し上げます。

年男年頭所見 渡辺 観永さん

「次号以降に掲載致します。」

米山塾生挨拶

「次号以降に掲載致します。」

米山塾生挨拶

「次号以降に掲載致します。」

「次号以降に掲載致します。」

名古屋には申し訳ないですが、機会があればもう神戸で住みたいですよ(笑)大阪城のイルミネーションショーも見るチャンスがあって、又々に博論のことを忘れた2日間を過ごしました。この短い旅は去年頑張った自分に神様からの褒美だと思えます。10年後改めて神戸に行けて、本当に嬉しかったです。

年男年頭所見 渡辺 観永さん

「次号以降に掲載致します。」

米山塾生挨拶

「次号以降に掲載致します。」

米山塾生挨拶

「次号以降に掲載致します。」

米山塾生挨拶

「次号以降に掲載致します。」

「次号以降に掲載致します。」



受入青少年交換学生挨拶
ダルトン・レーン・バイカー
(次号以降に掲載致します。)

1月29日(木)例会の案内
卓話

「地区国際奉仕委員会報告」
地区国際奉仕委員会
副委員長 堀江 英弥さん

広報委員会 林 順治
杉浦 令淑・内藤 明
*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。